



# 道

2023年9月16日  
(第101号)

一九七〇年、名古屋市昭和区にあった社会福祉学部だけの小さな大学の第二部(夜間部)学生となる。高校の先輩から誘われたのがその大学を選んだ理由と言ってもよく、工業高校でまともな受験勉強をしてない僕が行ける大学ならどこでもよかった。とにかく何でもいいから世の中のことや人間のことなど学びたいという思いだけは強かった。

▼その大学の同窓会があつて参加した。大学で何を学んだのか、大学が僕の人生に与えた影響は何であったか、社会福祉の専門性とは、などを考える良い機会になった。▼昼間の仕事を終え急いで夕食を摂って授業に。授業などで先生たちが説いていた次のようなことが頭に残っている。社会に出ると課題や問題に必ずぶつかる、それにどう立ち向かうか、その方法、取り組み方を大学で身につける、四年かけて。大切なことは、弱者の側に立つ、批判的思考、ヒューマニズム、連帯、自治、……。一生が学び。▼授業後の、サークル活動や学生運動、学友との語らいなどで時間を忘れた。遅くなって銭湯が閉まり入浴しない日が続いた。街頭デモや反戦集会などに出た。恋もした(失恋も)。大事な出会いがあった。▼卒業後、「福祉」の仕事に就くのは五〇歳近くになってから。今も、〈ケア〉現場で右往左往している。でもそこには拠り所とする「視座」がある。学び続けてもいい。大学時代が僕に重要なものを宿しているのは確かだ。同窓会の日に僕は七十二歳の誕生日を迎えた。

〒710-1301

岡山県倉敷市真備町箭田 5188

電話：090-5366-1497

メール：michi-care@outlook.jp

ホームページ：https://michi-care.jimdo.com/

〈道〉LINE：https://lin.ee/zCG7Iyp



林道也

